



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字：柏木寛照

えとす

年間購読料 1,200円 (一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成17年 1 月号
No.164 (冬季特別号)

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>



参議院初登院の二ノ湯智氏

新年のごあいさつ

皆様には新しい年を、お健やかに迎えにいられたことと存じます。

昨年は大変お世話になり心より厚く御礼を申し上げます。選挙期間中の暑さは特に厳しく、その中で私の当選のために献身的な運動をして下さった皆様には、ただただ感謝の気持ちで一杯であります。あの時の感激を決して忘れることなく、議員生活を全うする覚悟であります。

さて、当選して早や6ヶ月余りの歳月が経過致しました。地方議会で17年間過ごした私ではありますが、国政の間口の広さ、奥行の深さに今さらながら驚いており、自分自身の無学を痛感する毎日です。それでも60の手習いではありませんが、国政の舞台に立った以上、支持して下さった多くの有権者の期待を裏切らないためにも、必死になって勉強し、一日も早く、京都と日本のために役に立つ政治家になりたいと覚悟を決めております。今年を終戦から数えて60年の年であります。私は昭和19年

9月の生れでありますから、言わば日本の廃墟から繁栄までの過程の中で育ってまいりました。今の豊かな生活は、まるで夢のようでもあります。こんないい生活がいつまでも続く訳がありません。60年間曲りなりにも続いた平和な時代も、危うくなり、日本周辺の国際環境も厳しくなってきました。しかも、長引く経済低迷に加え、少子高齢化時代の到来が、日本社会をさらに大きな不安におとし立てております。政治・経済・行政システムを抜本的に転換しない限り明日の日本の豊かさ・安全・安心は確保できないのではないかと思います。

この難しい時代に、国政を担う政治家としての役割を与えられた私と致しましては責任を回避することなく、日本と、国民の安全・安心のために頑張ってまいる決意であります。何卒皆様方の変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。結びに、皆々様の益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。平成17年1月

参議院議員 二ノ湯 智

日本を変える仕事。挑戦者よ！来たれ。

衆議院議員候補者公募！

公募選挙区

京都第2区 (京都市左京区・東山区・山科区)
京都第6区 (宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・久世郡・綴喜郡・相楽郡)
*25歳以上の日本国籍を持つ方なら、どなたでも応募することが出来ます。

募集期間1月25日～2月25日!!

詳しくは自民党京都府連HPをご覧ください
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/jimin/>



「二ノ湯智」という政治家

ジャーナリスト 海野 謙二

「二ノ湯智」という政治家は、どんな力量の持ち主ですかよく聞かれる質問である。その二ノ湯参議院議員が新たな年を迎え、本格的な活動に入った。

昨年7月11日、酷暑のもと、参院京都選挙区での自民・共産による激戦の「三極戦争」で35万8512票を獲得して初当選。そして同月30日の臨時国会召集日に初登壇した。早いもので、いらい半年の時が流れたことになる。

本会議場の議席に初めて着席したさい「思えば長い道のりだった」という思いが胸に迫った。記者団のインタビューには「地方分権に力を入れて取り組むため総務委員会に所属しました。地方から出てきた立場で、府・市民の目線でどんなものを言いたい」と力強く答えていた。

京都市会議員を五期務め、この間、市会議長や全国市議会議長会会長、地方制度調査委員会などの要職についてきたと、手にした国政の舞台である。

その二ノ湯さんが選挙時、中心に据えた政策スローガンが「京都の智慧を日本に活かす」だった。「長い歴史と深い文化に培われた京都の智慧にしっかりと基盤を置きながら勇気をもって正論を訴えていく政治家として新しい日本建設に貢献したい」という思いからであり、京都政財界が期待する「国家戦略による京都創生」実現への意識も強かったからであろう。

正月の新聞紙面に「サミット 京に誘致」の見出しが躍っていた。京都府・京都市・京都商工会議所が二〇〇八年開催に向けて取り組む、という内容だった。2月には世界が地球温暖化防止に取り組む「京都議定書」が発効する。京都政界の動きにも目が離せない。

なにしろ、二ノ湯さんの選挙区地盤は、「右京区」から一気に「京都府」全域に広がった。昨夏、初めて投票用紙

に「二ノ湯智」という氏名を書いた有権者も多かったことだろう。しかし緻密で精力的な努力で「知名度」と「存在感」は日ごとに高まりつつある、と聞く。ホームページにこんな記述が載っている。

『衆議院議長を務めた「政界三賢人」のひとり前尾繁三郎氏の秘書として、政治とは何かを現場を通じて学ぶ毎日。先輩秘書にもしごかれながら人間的にも大きく成長した。現在でもその時代の支援者が大勢おられる。大変な財産をいただいた』

『元自民党幹事長の野中広務氏の事務所でお世話になる。野中先生の1回目の衆議院選を一緒に戦い抜き政治姿勢をそばで勉強させていただく。いらい政治の師として本当にお世話になっている。地方政治から叩き上げたスタイルを心から尊敬している』

『師』を大切にしている人柄が印象に残った。市会議員時代から地方政治・行政に精通した有数の政策通でもあり、行動力も抜群であることもよく知られているが、感心したエピソードをもう一つ。

約2年前、野中さんが政治生活50年を迎えられたさい、『野中広務 素顔と軌跡』を執筆する機会を得た。そのとき、二ノ湯さんからいろいろとヒントをいただいたし、永田町や霞ヶ関の実力者を紹介してもらった。元旧自治省事務次官で、現在は官邸で各省庁の首脳を束ねて活躍する二橋正弘内閣官房副長官もその一人だった。政治家にとって人脈は大きな武器となる。

先日、二ノ湯さんに会った。「国から地方へ」をキーワードにした「三位一体改革」の行方に注目していることを強調。「とにかく勉強を重ねて地方のお役に立ちたい」との言葉を繰り返した。

任期は1期目だけでもまだ5年半もある。それだけに改めて新鮮な気持ちで21日開幕の通常国会へ。京都が送り出した二ノ湯参議院議員の政治手腕の真価を問う国政での活動がいよいよ本番を迎えることになる。



二ノ湯議員に期待する

京都産業大学教授 須藤 眞志

昨年は二ノ湯参議院議員が誕生して本当によかった。まだ、一年生議員なので多くのことがすぐに出来るわけではないだろうが、これからは地方議員ではなく、国政の場に立つのであるから、それなりの自覚と覚悟をもって活動していただきたい。二ノ湯議員を生み出し、育ててくれた京都を忘れては絶対にならないのは言うまでもないが、議員としての関心をこれまでのように地方にだけ置くのではなく、日本という国家に置かなければならない。これまでは我々の二ノ湯議員に対する期待は京都の発展にあった。それでよかったが、今後は日本の発展にも寄与していただきたい。

地方の発展なくして国家の発展もないのだから、京都のことは国家にしかやれないこともある。例えば防衛や外交である。国家の安全保障を考えずして政治を語るのは無責任である。世間は今やテロの脅威に直面している。日本にテロが起らないという保証はどこにもない。その

危険を常に我々は認識しておくべきである。テロを未然に防ぐ対応を常に怠ってはならない。また、近くには北朝鮮という極めて実態が危険な国家が存在している。飢餓にあえぎ、多くの国民が国を捨てて脱出するという異常な事態にもかかわらず、ひそかに核兵器を製造し、日本を標的にしたミサイルを作っている。生物兵器やサリンのような化学兵器も有している。このような大量破壊兵器で攻撃されれば、日本に甚大な被害が出ることは目に見えている。拉致問題に対するあのような不誠実な対応にあき果てるばかりである。一方中国のような急速に大國となりつつある国家もあり、しかも大変な反日世論を形成している。近隣諸国とは今後とも親密な付き合いをせざるをえない。日本には国連を中心とした巧みな外交が要求される。二ノ湯議員には、これから外交や防衛といった分野にも精通していただき、日本の中心的な舵取りの役割をしてくれることを期待してやまない。

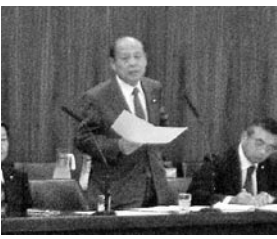
やまない。

二ノ湯議員、参院総務委で質問

平成16年11月18日、参議院総務委員会が開かれ、二ノ湯議員は初めて質問席に立った。二ノ湯議員の質問内容は、給与が高いと国民から強く批判の声が挙がっている特別職幹部公務員の給与全般の見直し、台風23号による被害を受けた市町村に適切な財政的措置を急ぐこと、そして三位一体改革と地方分権推進についてである。主な質疑のやりとりは次の通りである。

二ノ湯…台風23号の猛威で、京都府では北部を中心に河川の氾濫、堤防の決壊、土砂崩れなどが発生し、死者15名、住宅の全半壊約150棟、床上、床下浸水した住宅約750棟など甚大な被害が生じた。府は復旧に早々に取り組み、総額約300億余りの補正予算を組んだ。被災地の市町村も補正予算を組んだが、どの市町村も財政は逼迫している。今後、地方団体が財政運営に支障が出ないよう配慮してほしい。

麻生大臣…台風の本土上陸は年平均3回だが、今年は10回。ご要望の趣旨でやりたい。**龍野自治財政局長**…被災した地方団体の財政負担は大きい。総務省は、特別交付税や地方債による地方財政措置を講じたい。



二ノ湯…10年前前から地方分権社会構築への機運が高まり、平成5年には衆参両院で地方分権の推進に関する議決がなされ、平成11年には

地方分権一括法が成立し、形式的には国と地方は対等になったが、権限に見合う税財源の移譲はなかった。当時、財源移譲を求める地方の声を、全国市議会議長会の会長であった私は、政府によく伝えた。今回の三位一体改革では、閣議決定を受けて、地方六団体が3兆2千億の補助金削減案を政府に提出したが、自民党と各省庁は猛反対だ。平成5年の議決に参加した多くの議員もだ。私はこれを異様に思うが、総務大臣はどうか。

麻生大臣…日本は、明治4年の廢藩置県で中央集権体制を作った結果、ロシアの植民地にもならず、戦後も官僚主導と業界協調の体制で経済復興に成功した。しかし、80年代末頃、地方が求めた、電気、道路、下水道などの最低生活水準が一応確保されると、今後どういふ社会にしたいかそれには何が

必要かを地方が決める方が、金が生かされるという考えが出てきた。地方分権一括法では、そのための財政的裏付けがなかったが、今回は財政の改革が始まった。補助金を失う側では、権限の縮小だから、案がまとまらない。だから、3兆という額だけ決めて、どれが要るか要らないかは、地方が決めた。無理と置いていたらまとまったので、慌てた方が一杯いる。しかし私は、政府の方針通り、この地方案を真摯に受けとめ、地方主権を進めるべきだと思っっている。**二ノ湯**…日本が地方分権に進むよう、大臣には一生懸命頑張ってください。

二ノ湯議員、台風被災地を視察

昨年10月20日から翌21日未明にかけて本土に上陸した台風23号は、兵庫県豊岡市、京都府中北部地域に甚大な被害をもたらした。二ノ湯議員は国会開会中にもかかわらず、22日早朝から、京都選出国会議員の中で一番に被災地に入り、舞鶴市では地元市



会議員等と被災状況を視察した。水びたしになった商店街、泥に埋もれて通行不可能になった道路や、根っこから折れた電柱、増水により流された橋脚等を目の当たりにし、改めて台風23号の猛威と早期復旧の必要性を痛感。被災地住民や自治体の要望を受け、二ノ湯議員は早期復旧を行うよう国に強く働きかけた。

「安全保障に深い関心を示す」

世界中で米国とスベ



イン、そして日本の3ヶ国しか所有していない「イージス艦」を見学するため、11月下旬早朝、二ノ湯議員は海上自衛隊舞鶴地方総監上自衛隊舞鶴地方総監部を訪れた。舞鶴地方総監である加藤海将より、舞鶴地方総監部についての詳しい説明を聞き、その後、舞鶴を母港とするイージス艦「みょうこう」に乗艦、艦内に案内してもらった。一般公開時にも立入り禁止される、イージス艦の頭脳とも言えるCIC(戦闘指揮所)や、補給作業中のスタンダード対空ミサイル等を見る事ができ、国の安全保障に深い関心を示す国会議員として貴重な経験をすることが出来た。

自民党税制調査会、各議員 活発に発言 牙えた伊吹氏 税制小委員長の運営ぶり

平成17年度の国家予算を編成するため、自民党は昨年末、税制調査会を開き、予算財源の確保のために、各分野の税目について熱心に議論を交わした。調査会では自民党の各支部に所属する議員が、各々の立場から発言する。明らかに業界代表の意見を肩代わりして発言する議員もあつたが、その迫力は大きなものである。今回の税制調査会で大きな争点は、サポポビールが開発した、いわゆる「第三のビール・ドラフトワン」に対しての増税、又地球温暖化防止の財源確保のための環境税導入の是非

が大きなテーマであった。いずれも今回は先送りとなったが、来年度以降、税制調査会ではかなり白熱した議論が行われるものと思われる。ところで、自民党の調査会の中でも税制調査会は最も重要であり、又花形の調査会でもある。それだけに各議員の発言にも、迫力と熱意が込められており、良く勉強した意見の開陳が多い。これらの議論を取りまとめるのは、なかなか骨の折れる仕事であり、相当な税制の専門家でない調査会の進行をスムーズに運ぶことはできない。今回、税制調査会の小委員長として、地元選出の伊吹文明代議士(京都府第一選挙区)は、見事な宰配ぶりを発揮した。

「歩こう会」へのお誘い

二ノ湯智後援会では、会員の健康増進と市内の名所旧跡めぐりを兼ねて、平成4年5月から「歩こう会」を月1回、開催しています。昨年まで142回を数えました。丸2年間、続けたこととなります。これから

あなたも健康のために歩いてみませんか

第143回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日時：1月30日(日)
- ・出発時刻：午前8時30分(時間厳守)
- ・集合場所：南座前(小雨決行)
- ・コース：南座前→八坂神社→円山公園→知恩院→平安神宮→疏水沿い→南禅寺→インクライン→蹴上発電所→地下鉄蹴上駅→解散
- ・新しい一年が始まりました。今年も、自分の健康のために毎月歩こう会に参加しましょう。又、出向きのため、歩こう会に参加し、知識を高め、体力を高め、前向きに張りましょう。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758
歩こう会の通信費1200円(年額)のご協力をお願いします。

二ノ湯議員、当面は無派閥

国会議員の場合、衆議院、参議院議員を問わず、どこかの派閥に属している議員が多い。自民党公認の獲得、選挙運動の応援などで、派閥の力を借りることが多い。したがって、選挙後ほとんどの議員は、選挙で物心両面で支援してもらった派閥に入ることになる。複数の派閥から誘われ、そ

役員の方々のご協力をいただき、「歩こう会」を継続してまいりますので、ご参加下さいませようご案内申し上げます。

二ノ湯事務所の体制 明るく、気軽に、親切に

新人議員にとって一番の悩みは事務所の体制づくりである。特に二ノ湯議員は、市民の視線を忘れず、市民の立場に立った政治をとスローガンに選挙を戦っただけに、誰もが、気軽に立寄り、何でも相談できる事務所にしなければならぬ。幸いに東京事務所には仕事出来る大臣秘書官の経験がある政策秘書が、京都事務所には30歳前後の若くて、行動力ある3人の秘書が常勤することになった。東京事務所の若い女性秘書は朝8時前には出勤するという働き者、京都事務所の女性秘書は市会議員時代からのベテラン、国政・府政・市政と何でも気軽に相談に乗れる体制になっている。国会議員事務所は敷居が高い、近づきがたいという人もあるが、スタッフが多し、仕事の処理の面では市会議員時代より一層充実しているのではないかと思われる。

れで頭を悩ます新人議員もいる。「二ノ湯さん、どこの派閥に入りましたか」と二ノ湯議員もよく質問を受けるが、当分の間、二ノ湯議員は無派閥議員として活動を続ける意思を表明している。昨年夏に当選した参議院議員で無派閥を通しての、スキーマの荻原健司、経済財政担当大臣の竹中平蔵、二ノ湯智の3人である。

身辺雑記

一、昨年夏の暑さは格別であった。選挙事務所の方々から、中盤戦に入ったら一度、点滴をして体力の回復を図った方がいいとアドバイスを受けたが、期間中、全く疲れを感じなかった。

一、私は人一倍日焼けする質である。従って、選挙前から顔は真黒になった。顔の前と後が判らないと皆から冷やかされた。しかし、黒い顔で走り回っていると、候補者の真剣な様子も伝わり、それが多くの人々に好感を与えたのではないかと思っている。一、この頃は投票所での出口調査が極めて正確で、開票前にはほぼ結果が明らかとなる。今回の参院選でも、京都選挙区での民主党と自民党の当確は、8時過ぎであった。右京区の選挙関係者から、投票箱を西京極の市民スポーツ会館の開票場に運んでいる最中に、ラジオのニュースで、私の当確を知ったと聞かされた。ハラハラ、ワクワクの選挙事務所の開票風景は過去のものとなってしまった。

一、当選後、議員宿舎の抽選会があった。幸いに私は、国会近くの新しい麹町宿舎が当たった。宿舎から自民党本部、参議院会館まで10分ほどの距離である。会館はそれほど広くないが、2部屋ある。昭和40年、私が大学2年生の時、参議院会館に植木光教先生を尋ねた。大変緊張したのを記憶している。私が今その部屋に居ることが出来るとはまるで夢のような感じである。

「えとす」発行のご挨拶

私、二ノ湯さとしは、昭和62年4月に京都市会議員に当選してまもなく、自らの政治活動と、京都市政の最新の話題を知ってもらうために、ささやかな月刊誌「えとす」の発行を始めました。わずか四頁のタブロイド版ですが、平成元年6月から参議院議員に立候補する直前の平成16年5月まで、163回継続して発行してまいりました。それなりに熱心に目を通して下さるファンも出来、自分としては、参議院議員になっても続けて発行したいと考えておりましたが、市会議員時代と違い、送付先が府下一円となりますと、発行部数も大幅に増やさなければなりません。従って、私の財政力では、毎月多くの人々に送ることはとても出来ませんが、季節毎にはお便りを差し上げるよう努力を致したいと考えております。何卒ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

「えとす」購読のお願い
月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

年間購読料 千二百円
郵便振替口座番号 01000-4-62360

みんなで政治を考える会

— お申し込み先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

・皆様のご意見をお寄せ下さい

ホームページを開設いたしました

是非ご利用ください

— URL —

<http://www.ninoyusatoshi.com>